

MONTHLY

神變別冊

宗派だより

令和6年4月号



令和六年四月六日発行
発行所 真言宗醍醐派宗務本庁
京都市伏見区
醍醐東大路町二十二

電話 〇七五―五七―一〇〇〇二
FAX 〇七五―五七―一〇〇〇二

今月の掲載内容

- ・「醍醐の桜」と共に
未来へつなぐ、祈りの心 1
- ・録事 2
- ・末寺・教会・醍醐寺だより 3
- ・本庁からのお知らせ 3
- ・醍醐寺からのお知らせ 3

3 3 3 2 1

「醍醐の桜」と共に未来へつなぐ、祈りの心 仲田 順英

「醍醐の花見」の季節がやってまいりました。近年、温暖化により桜の開花時期が早まり、入学式ではなく、卒業式が桜のイメージになってまいりましたが、醍醐寺には桜を愛でに今年も多くの方々が訪れております。秀吉公が催されたこの「醍醐の花見」は、慶長三年（一五九八）旧暦の三月十五日に開かれました。それ以前から醍醐寺と桜の関係は古く、三宝院を創建した勝覚僧正により、永久六年（一一一八）には、「桜会」と呼ばれる請雨法（雨乞いの法）が修行され、満開の桜のもとで法要を営まれたことが文書に記されております。その後も足利尊氏の弟である直義や六代將軍足利義教なども醍醐寺に花見に訪れたことが記録されております。

身が楽しむために行われたのではなく、最晩年、共に苦難を乗り越えてきた方々、自分の世話をしてくれた方々、自分が一番大切に思っている方々に楽しんでもらおうと開かれた「お花見」でした。丁度、その二年前、慶長の大地震により、居城である伏見城が倒壊し、多くの方々が被災したこともあり、被災によって沈んでいた城内の人々の心を慰めるためにも秀吉公が「祈りの心」で行った「お花見」だったからこそ、今にも、その素晴らしさが語り継がれているのではないのでしょうか？

人の心は移ろいやすく、儂いものでございます。しかし、そこに「祈り」があれば、広く大きな心を持つことができます。

本年は醍醐寺開創千五十年の記念の年であり、その慶讃事業のメインは「法流の杜」の整備としての桜の植樹です。

清瀧権現の伝説の中で、祈りと共に伝えられてきた「醍醐の桜」。未来に向けて、その美しさと祈りの心を皆さまのご尽力のもと伝えていきたいと思っております。

第七十六次定期宗会 告諭

本日ここに、第七十六次定期宗会を招集いたしましたところ、議員各位には、ご多忙な中、ご登山下さり誠に有り難うございます。

昨年十一月、醍醐寺第百三世座主、真言宗醍醐派第十一世管長の順和大僧正猗下が御遷化されました。醍醐派教師だけでなく、多くの方々から哀悼の意がよせられました。

このような悲しみの中、不肖、私が座主、管長へ推挙されました。座主、管長として、仲田猗下が示されたように、開山聖宝尊師の御心に添い、宗団発展のために精進して参ります。

奇しくも、本年は醍醐寺開創千五十年を迎える年でもあります。この記念すべき年に、醍醐派教師お一人お一人のお力をお借りし、大法要を無魔にて成し遂げたく存じております。

一方、世界に目を向けると、戦乱に苦しむ人々は増え続けております。日本においても、本年の一月一日に能登半島地震が発生し、今なお避難所に多数の方がおられます。一日も早く、平穏な生活が戻るように、醍醐派寺院・教会・教師の皆様と共に祈っていききたいと思っております。

最後に、議員各位のご健勝を祈り、告諭といたします。

令和六年三月十四日

真言宗醍醐派管長

大僧正 壁瀬宥雅

録事

▼度牒授与

本宗籍

令和五年十二月十七日

広島

藤原 和光

▼僧階昇補

修験籍

令和五年十月十日

大律師 東京 東
大律師 栃木 木

河野 聖炎
堀田 明峯

▼責任役員任命

二月三日

三河東部 法林寺

坂巻 恵介
大江 泰枝
上野 静子
上野 哲士

富山 聖久寺教会

二月十四日

三河東部 不動院

小笠 量順
小笠 せつ子
鈴木 久美
鈴木 雅司

三河東部 龍泉院

柴田 千鶴
牧野 陽子

二月十六日

三河東部 威寶院

西岡 良祐
福田 旭

二月二十四日

京都 上願寺

▼総代委嘱

令和五年十月二十五日

福岡 法照寺

松隈 八千代
渡邊 房枝
西村 弘孝

二月三日

三河東部 法林寺

熊谷 康
前坂 國武
小林 健二

二月十四日

三河東部 不動院

安井 康二
宮城谷 仁志

三河東部 龍泉院

鈴木 通博
鈴木 里奈
後藤 寛
鈴木 正六

二月十六日

三河東部 威寶院

西田 和代

二月二十五日

山形北部 寶隆院

仁藤 等
福澤 一郎
茅原 章彦

▼褒賞下付

二月一日

愛媛 蓮生寺

渡部 敬三

▼承認・証明

令和五年十二月八日

新潟 愛染院

宗教法人解散の件

令和六年一月三十一日

鹿児島(直) 報恩寺

宗教団体証明書下付の件

二月八日

愛媛 佐々木 栞祐

転入承認の件(高野山真言宗より転入)

二月十日

大分 最勝寺

宗教法人解散の件

兵庫 上野 顕弘

僧籍復籍承認の件

二月十五日

山口 藤里 隆

「大聖院神原教会」次期代表役員代務者就任予定者証明書下付の件

二月十八日

大阪(直) 宝寿山無比力堂

非宗教法人廃止の件

二月二十一日

備前 金剛寺住職 菅野 舜仁
履歴証明書下付の件

二月二十八日

福島 松井 智照

師僧替承認の件

二月二十九日

福岡 法照寺

宗教法人解散の件

▼死亡

令和五年十二月四日

大阪 宝寿山無比力堂主管 少僧正 久世 誠真

醍醐寺僧侶職員募集

- 1 僧籍を有する方で、健康で信仰心があり、後進の育成に努力を惜しまない方。
- 2 給与 17万円以上。
- 3 住居を用意（山内居住の場合は居室を用意）。また、通勤の場合は交通費を一部支給。
- 4 休日は年間75日、有給休暇法令通り付与。
- 5 健康保険、厚生年金加入。
- 6 勤務地は総本山醍醐寺。学院の寮監、随行を含め若干名を募集。
※募集要項詳細はお問い合わせください。

京都市伏見区醍醐東大路町22 総本山 醍醐寺

末寺・教会・醍醐寺だより

節分会

令和六年二月三日(土) 午後一時 伽藍 清瀧宮

五大力餅入魂式

令和六年二月十日(土) 午前十一時 ホテルグランヴィア京都

令和六年二月十八日(日) 午後一時 深雪会 つるき餅

遍照心院順和大僧正 百箇日法要・納骨式

令和六年二月十二日(月) 午前十一時 三寶院本堂・塔頭 菩提寺

五大力尊仁王会

前行 令和六年二月十五日(木) 午後三時 開白 伽藍 金堂

令和六年二月二十一日(水) 午前十時 結願 伽藍 金堂

仁王会 令和六年二月二十三日(金・祝) 午前九時 全山

本庁からのお知らせ

総務部より

宗教法人の寺院・教会は、毎年会計年度終了後四月以内に役員名簿と財産目録の写しを所轄庁(都道府県庁)に提出することとなっております。『宗教法人法』第二十五条第四項

この他にも、収支計算書、貸借対照表、境内建物に関する書類、事業に関する書類の写しの提出が必要となる場合があります(詳細は、真言宗醍醐派宗務本庁ホームページ又は、文化庁ホームページ参照)。

宗務本庁では、これらの書類の写しを本庁にも提出いただくことを、宗教法人並びに非宗教法人の寺院・教会にお願いいたしております。

また、寺院・教会は、適切な運営のため、当該寺院・教会規則に基づき、責任役員及び総代を置かなければなりません。責任役員・総代に欠員が生じた場合、任期満了になられた場合には、速やかに申請を行ってくださいますようお願いいたします。

財務部より

令和六年度分の宗費賦課金は、六月以降にご請求させていただきます予定です。

本宗教師・修験道教師の方で、銀行引落登録(個人宗費に限り)をされている方は八月二十七日(火)の引き落としとなります。

宗費賦課金、醍醐寺開創千五百年慶讃事業義納金をはじめ各種お支払いに関するお問い合わせは、宗務本庁財務部までお尋ねください。

教学部より

第四十九回部落解放・人権西日本夏期講座参加者募集

主催 催 第四十九回部落解放・人権西日本夏期講座実行委員会(後援「同宗連」)

日 程 令和六年六月十三日(木)～十四日(金)

十三日(木) 午後一時から午後五時三十分

十四日(金) 午前九時から午後零時二十五分

会場 別府国際コンベンションセンター・ピーコンプラザ

〒八七四〇八二八 大分県別府市山の手町十二-1

☎〇九七七一六七一七-1

参加費 六千円(二日間/参加費・資料代、税込)

締め切り 五月二十三日(木)

※宗務本庁で取りまとめの上、「同宗連」事務局に申し込みますので、参加希望の方は教学部までお問い合わせの上、お申し込みください。

醍醐寺からのお知らせ

釈尊降誕会 花まつり

令和六年四月八日(月) 午前十時 真如三昧耶堂

清瀧権現桜会 第六十九回 豊太閤花見行列

令和六年四月十四日(日) 午後一時 下伽藍

清瀧権現桜会 結願 恵印法要

令和六年四月十五日(月) 午前十時 下伽藍

感謝状授与式

令和六年四月十五日(月) 午後二時 下伽藍

清瀧権現桜会 大蔵流奉納狂言

令和六年四月十五日(月) 午後三時 下伽藍

醍醐山伝法学院 第九十二回生卒業式

令和六年四月二十五日(木) 午前十時 伝法学院

醍醐山伝法学院 第九十三回生入学式

令和六年五月七日(火) 午前十時 伝法学院

三寶院流度式

令和六年五月九日(木) 午前十時 三寶院 本堂

准胝観音御開扉法要

令和六年五月十五日(水) 開白 午前十時三十分 伽藍 観音堂

令和六年五月十八日(土) 中日 午前十時三十分 伽藍 観音堂

令和六年五月二十一日(火) 結願 午後二時 伽藍 観音堂

伝授開庭告知

醍醐寺では本年九月に左記の伝授の開庭を予定しております。日程などの詳細はあらためてご連絡いたします。

○理性院流 太元護摩 付息災 伝授

伝授大阿闍梨 醍醐寺座主・三寶院門跡 壁瀬有雅 大僧正祝下

○梵字悉曇伝授 坂井榮信 悉曇阿闍梨相承

澄禪流梵字・智満流梵字伝授 悉曇灌頂

第一会(十二会予定、九月は一会のみ) 又、大師流梵字も予定

伝授悉曇阿闍梨 種智院大学副学長 児玉義隆 僧正

※約三年を予定し、悉曇灌頂を開壇します。

※講義はオンライン配信も予定しております。

<p style="text-align: center;">和光印刷株式会社</p> <p>〒602-0012 京都市上京区烏丸通上御霊前上ル TEL (075) 441-5408 FAX (075) 441-4982 E-mail info@wako-print.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">杉本権七法衣店</p> <p>〒600-18304 京都市下京区新町通六条下ル TEL (075) 351-2890 FAX (075) 341-6774</p>	<p style="text-align: center;">山城屋文政堂 藤井佐兵衛</p> <p>〒600-18029 京都市下京区寺町通五条上ル TEL (075) 351-9363 FAX (075) 343-5500 http://yamasa-bunseido.com</p>	<p style="text-align: center;">大住法衣店</p> <p>〒604-18274 京都市中京区小川通三条上ル西堂町 TEL (075) 221-3087 FAX (075) 221-3038 E-mail oosumihoi@gmail.com</p>
<p style="text-align: center;">大峯山陀羅尼助丸 花谷神変堂</p> <p>〒638-10431 奈良県吉野郡天川村洞川235 TEL (0747) 64-0047 FAX (0747) 64-0070</p>	<p style="text-align: center;">林勘法衣店</p> <p>〒602-10874 京都市上京区河原町丸太町 西筋下ル東土御門町345 TEL (075) 231-2244 FAX (075) 255-6632 E-mail hayashikan@beachocn.ne.jp</p>	<p style="text-align: center;">法衣・仏具製造及び販売</p>  <p style="text-align: center;">井筒法衣店</p> <p>600-8468 京都市下京区堀川通新花屋町角(西本願寺前) Tel 075-365-0001 0120-075-730 Fax 075-353-7021</p> <p>オンラインショップはこちらから →</p> 	<p style="text-align: center;">田中伊雅佛具店</p> <p>〒600-18453 京都市下京区万寿寺西洞院東入ル TEL (075) 351-2584 FAX (075) 341-8822 http://www.tanakaiga.com</p>
<p style="text-align: center;">松栄堂</p> <p>〒604-10857 京都市中京区烏丸通二条上ル東側 TEL (075) 212-5590 https://www.shoyeido.co.jp</p>	<p style="text-align: center;">今井半念珠店</p> <p>〒605-10934 京都市東山区大黒町通正面南入 TEL (075) 561-0307 FAX (075) 525-2557</p>	<p style="text-align: center;">上田法衣佛具店</p> <p>〒604-10913 京都市中京区河原町二条西入上ル TEL (075) 221-1334 FAX (075) 211-1858</p>	<p style="text-align: center;">土山印刷株式会社</p> <p>〒601-18308 京都市南区吉祥院向田東町14 TEL (075) 312-1321 FAX (075) 313-8521 www.tsuchiyama.co.jp</p>



醍醐寺開創1150年慶讃事業義納金について

今般の義納金は、醍醐寺開創以来1150年に亘って受け継がれてきた法流伝承の象徴として「法流の杜」を整備するための大切なものです。

詳細はお手元のパンフレットをご確認いただき、是非お早目の納入をお願いいたします。

ご不明点は宗務本庁までお問い合わせください。

[お問い合わせ] 宗務本庁 TEL : 075-571-0002

開創1150年記念 醍醐寺 国宝展

会 期：2024年6月15日(土)～8月25日(日)

休館日：月曜日、7/23(火)

*7/15(月・祝)、8/12(月・祝)は開館

会 場：大阪中之島美術館 4階展示室

時 間：10:00～17:00 (入場は16:30まで)

https://nakka-art.jp/exhibition-post/daigoji-2024/